



5月17日、知名保育所で、瀬利覚字老人会の協力による芋植えがありました。園児たちは、老人会の皆さんに優しく教えてもらいながら、楽しそうに芋の苗を植えていました。芋植え後は、肩たたきをしたりゲームをしたりとふれあいの時間が設けられ、和やかな時間を過ごしました。

おじいちゃんおばあちゃんと



余多字が主催する田植え作業が、5月9日、ふれあい公園でありました。参加したのは、下平川小5年生の児童と、沖永良部高校の大島養護学校特別支援教室の生徒で、余多老人クラブ「天龍会」のメンバーに指導を受けながら、初めての田植え作業に苦戦しつつも、楽しみながら作業を行っていました。

鯉のぼりに見守られながら



5月18日、町民体育館において、第35回町スポーツ少年団バレーボール大会がありました。A・B・Cブロックを、それぞれ、知名A・知名B・知名Cチームが制覇しました。また、雨天により延期となったサッカー大会は、21日に大山総合グラウンドで開催され、知名Bチームが優勝しました。

知名Aチームが優勝！



5月16日、沖永良部ライオンズクラブから、昨年の台風災害に対する支援金の贈呈がありました。これは、群島内のライオンズクラブが、特に被害が甚大だった与論町への寄附を主な目的として集められたものですが、この度、沖永良部島の両町にも贈呈されました。

災害復興のために



5月20日、島旅作家・写真家である河田真智子さん（東京都在住）から、重度の脳障害をもつ娘・夏帆さんの生活を記録した図書「生きる喜び」が、町立図書館および各小・中学校に寄贈されました。河田さんは「どんな大きな困難にあっても、希望を持ち続けた娘の人生を知ってほしい」と話されました。

どんな時でも希望を持って



5月17日、正名字公民館において、町青年連絡協議会（以下、町青連）の総会があり、現在、町青連のメンバーはほとんど役場職員というなか、各字青年団にも活動に参加してほしいという意見が出されました。このほか、役員改選では、正名字の森田翔悟さんが副会長に選任されました。

字青年団も協働で